

二

時事新報定價
社へ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其費
料ハ左ノ如レ
一箇月前金五十銭〇三箇月前金一圓五十銭〇六箇月前金三圓
金六圓
社ヨリ直接ニ郵便ニテ送致スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇
月過料ヲ申受ク
祭祝日ノ翌日并に歳末年首等他の新聞紙休刊の日の内に時事新報
は一ヶ月前金五銭なり但し郵便配達の地方は此外一枚に付二
行二付
二日以上
一行二付
七日以上
一行二付
十一行二付
十二行二付

原人以來世々宗教ありて其綱紀作法は種々相異なれども之よりて人心を和らげ秩序を保ち次第々進化發達して世の觀伐不人の弊弊に陥るを制抑したるゝ至ては何れも皆同じうらざるはあし即ち今日よてて文明と稱し開化と唱へて親戚知己の交際より家の起居まで盡り人情の外に逸出せざるゝ至りしものは曾是れ宗教勸化の力よして人間私徳の頗内に於て廣く

家の運動

の餘、凝て此極に到りたると明白にして忠君愛國の如き處世の公徳に屬するものは要するに唯私徳の發達を特つに外なかりしや知るべきのみ左れば陰より陽より先鋒みいよ／＼進んでいよ／＼本末を忘れ誤謬の構築をしてます／＼廣からしむる今の佛敎家の心事、ひそ不審の至りにして佛敎の前途の爲め否な私徳の發達の爲め又我輩は何分も心に樂しからざるを覺ゆるものなり今佛徒は知るや知らずや昔の高僧の言に表す王法を尊び内心に佛法を信すと云ふとあり其心自ら高遠にして無限の味ありと雖も今は則ち然らずして佛法を擁して王法に結託せんとするやの趣なきにあらず前言の語法を借用して之を説すれば表に佛法を率じ内心に王法に媚ると云ふも不可なきが如し清淨深遠なる佛法の爲めには誠に氣の毒なる事共よして心ある者は轉た今昔の感に堪へざる所なるべし故に我國の佛敎家たる者は喙を公徳の領内に容れて濫に衆生濟度に盡力せんよりは寧ろ私徳の點より其身の行状を省み自ら潔ふして以て世に德行の模範を示し風教の改良に一助を興へんと我輩の望む所よして佛敎の爲めなり又國の爲めなるべきを信するものなり

各大臣の厚遇を得て保定府の近傍に住し後ち或は一夜一鉢五臺山上に登陸し西京長安に遊び或は四川峨眉山間に逍遙し或は雲南貴州廣西福建以下湖南湖北及南京より曾國藩等も出會し其他蘇州杭州の各處を廻り數年の星霜を経て客途の長きに倦み其間又歸國しるふもありしよしなるが今度更ニ志す所ありて本便横濱丸に搭じ我日本より向賀錠を飛ばし折もあらば金玉均などの舊友其他の知人を慰問する心組なるよし天津商人の弊 天津地方支那人の間に甚敷張風あり例へば物品の賣買上より付名目だけは立派に期限を定め約束すれども實際其約束を履行するふと無く稀にあれあるも期限に至り物品の直段上れば品を請取り下がれば之れを受取らず又約束したる品物の賣買に手附金などを仕拂ふと無く何程手堅く約束するも買人の都合次第買入れたる物を引取ると遅く代價仕拂も即金などは思ひも寄らず約束は即金の定なれども十日或は一ヶ月甚しきに至りては三ヶ月乃至ヶ月にも延引するが常なり敢て積着なる心得より左あるにはあらねど唯該地一般の寛慢なる風習なれば致し方なく若し之れを嫌はざる天津の商賈よ堪ると恐くは六ヶ敷ケル別して我日本の商人は賣買又急ひで手出しする有様なれば大小よりはらずその目的を達する能はざるも無理ならぬ事なりと或る老商の物語りに聞き

當地に開きしより各地方にも廣告し支那人の飲料に供する目的よて續々輸入し來りしが紹興府より產出する紹興酒の瀟洒甘味なるに比すれば如何あらんと心配したるもありたれど追ひ／＼聲價を博し支那の年末年始の際よは一層賣捌高を増加する見込みて既々同會社員宮戸某も前便にて來着したるよし
製筆店　當地に有名なる筆店あり吳吟軒と稱す是迄此

其主人の虎列刺病にて死去したる以來職工中の上手な
者過半退散したるより評判悪敷成り行き今は胡開文
の製筆を以て第一等とすと云ふ

○天保錢の鎔解 目下大坂府下西成郡難波村なる大藏
省所屬の米廩に貯蔵しある處の天保錢は都合二百七十
萬圓又上り居る由あるが今度之を鎔解せんとて大坂造
幣局は元貰百萬圓、大坂製銅會社にて同百萬圓、三井物

産會社の手みて七十萬圓と夫々受領を別ちて鎔解する事とあれり今製銅會社の受負を聞くに期限は去る十二月より本年十月迄よして鎔解料は凡四萬圓なり左れば同會所製銅所は勿論狹隘きあいす付更に工場の西手に天保鎔
鎔解所を假設して既に鎔解に着手したり又三井物産會社
社は大坂西區南區邊の製銅業者じとうぎょうしゃより下受領を命ずる筈あるが何れも銅質を仕分け地金じきんとして金庫局に納むる都合より開港場に置かれて現實に有る事無事に運営せらる

○熊本の國摺黨 去る十三日、熊本錢の通商よりく本日
十日當地の紫江學會世務部員が、鎮西館へ於て公然政
組議の事を吹鳴し、結黨式を行ひ國摺黨と名づかしが同
黨の主張頭は、第一吾黨は國性を發揮し開拓の擴張
を計る(第二)吾黨は勤儉を旨とし實業を営り民力の休

保守すべきものあり吾黨は正確の在る所にて從て運動する
の三點を有りと開れば事の眞理を知らざる者必成は
同黨となりて眞然獨立の新政黨となし以て其事務に驅自
するものなきを期すべからざれど同黨は決して左る

學農社同窓親睦會

東京開會

十二 挑子。挑之者人也。每會時，被承下來，唱兩聲，初名倒婆子，誰計候間，但略施禮，申上候也。

原桂仙僧長今病氣之盛終ニ養生不相叶本日午前一時
三十分死去致候此段生前殊知諸君ニ説告入
但來廿三日正午飯田町四丁目自宅出棺駒込吉祥寺
ニ般テ葬儀相當ニ也

東京開會

學農社同憲觀睦會

大坂の御

大坂の物